

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

こころのりんしょうa.la.carte (2011.09) 30巻3号:303.

【睡眠障害の今日】
夜尿は何歳まで正常ですか？

千葉 茂

Q21 夜尿は何歳まで正常ですか？

A 夜尿とは、夜間睡眠中に無意識に排尿する現象です。

ヒトは胎生後期に子宮の中で排尿を開始します。出生前後の排尿は、膀胱内に一定量の尿が溜まると排尿する反射性排尿です。生下時には、すべてのヒトが夜尿をします。4歳頃になると、脳による排尿抑制機構が完成し、自分の意思で排尿を中断できるようになり、また、膀胱容量が生下時から4歳頃まで急激に増加します。一般的には4歳頃に排尿機構が完成するとみなされています。

こうした排尿機構の正常な成熟過程を踏まえると、夜尿は5歳までは正常であり、5歳以降に持続する夜尿が病的とみなされ、夜尿症と呼ばれています。

それでは、夜尿症はどれくらいの頻度で見られるのでしょうか？ 夜尿症患者の7歳時の頻度は約

10%で、20歳時の頻度は0.5%であるとの報告があります。5歳以降に夜尿症と診断された患者は、20歳までにかなり治癒することが分かります。ちなみに、夜尿症が自然治癒する平均年齢は7.3歳であると報告されており、薬物治療や条件付け療法の開始は8歳以降に行われます。

5歳の子どもが夜尿を主訴に受診してきたら、病的な夜尿と考えられるのですが自然治癒の可能性もあるため、定期的な診察を継続しながら8歳頃まで見守るのがよいと考えられます。

なお、夜尿が夜間のてんかん発作の一症状である可能性を念頭に置く必要があります。てんかんが疑われる場合には、年齢に関係なく、てんかん専門医に紹介すべきです。

(千葉茂/旭川医科大学医学部精神医学講座)